

○長崎市民会館条例

平成27年 3 月20日

条例第 1 号

(設置)

第 1 条 本市は、市民の文化的教養の向上及び体育の振興を図るとともに、男女共同参画を推進し、もって福祉の増進に寄与するため、長崎市民会館を長崎市魚の町 5 番 1 号に設ける。

(施設)

第 2 条 長崎市民会館に、次に掲げる施設を置く。

- (1) 市民会館（次号及び第 3 号に掲げる施設以外の施設をいう。第 7 条第 1 項において同じ。）
- (2) 長崎市中央公民館（社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条第 1 項の規定に基づき設置する公民館をいう。以下「中央公民館」という。）
- (3) 長崎市男女共同参画推進センター（長崎市男女共同参画推進条例（平成14年長崎条例第31号）第20条の規定に基づき設置する拠点施設をいう。以下「男女共同参画推進センター」という。）

(男女共同参画推進センターの事業)

第 3 条 男女共同参画推進センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 男女共同参画の推進のための研修会、講座等の開催に関すること。
- (2) 男女共同参画に関する相談に関すること。
- (3) 男女共同参画の推進についての情報の提供に関すること。
- (4) 男女共同参画の推進のための活動を行う民間の団体への支援に関すること。
- (5) 男女共同参画推進センターの施設及び設備の提供に関すること。
- (6) その他男女共同参画の推進のために必要と認める事業

(指定管理者による管理)

第 4 条 教育委員会は、長崎市民会館の管理を地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の 2 第 3 項の規定により、教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。

- 2 教育委員会は、前項の指定に当たっては、公募の方法により、これを行うものとする。
- 3 指定管理者の指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他教育委員会が別に定める書類を添付して、教育委員会に提出しなければならない。

4 教育委員会は、前項の規定により提出された書類を審査し、次に掲げる条件を満たすもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定する。

- (1) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (2) 長崎市民会館の効用を最大限に発揮するとともに、管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 長崎市民会館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しているものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が別に定める条件
(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第2条に規定する施設（以下「施設」という。）の利用の許可その他の施設の利用に関する業務
- (2) 中央公民館の事業の実施に関する業務
- (3) 男女共同参画推進センターの事業の実施に関する業務
- (4) 長崎市民会館の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、長崎市民会館の施設の運営に関して教育委員会又は市長が必要と認める業務
(開館時間及び休館日)

第6条 長崎市民会館の開館時間及び休館日は、教育委員会（男女共同参画推進センターにあつては、市長。次項において同じ。）の承認を得て指定管理者が定める。

2 前項の承認の基準は、長崎市民会館の利用形態、利用者の利便性等を勘案して教育委員会が別に定める。

(利用の許可)

第7条 市民会館の次に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

- (1) 文化ホール ホール、展示ホール、リハーサル室、音楽室、会議室又は和室
 - (2) 市民体育館 競技場、軽スポーツ室、トレーニング室又は卓球室
- 2 中央公民館の研修室、視聴覚室、調理実習室、室内楽室、和室、体育室又は工作室を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
- 3 男女共同参画推進センターの会議室又は研修室を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

4 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合には、前3項の利用の許可（以下「利用の許可」という。）をしない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 長崎市民会館の管理上支障があるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (4) その他指定管理者が適当でないと認めるとき。

5 指定管理者は、長崎市民会館の管理上必要があると認めるときは、利用の許可について条件を付することができる。

（利用料金）

第8条 利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金（附属設備の利用に係るものを除く。）は、前条第1項第1号に規定する文化ホール（別表第1において「文化ホール」という。）にあつては別表第1に掲げる額を、同項第2号に規定する市民体育館（別表第2において「市民体育館」という。）にあつては別表第2に掲げる額を、中央公民館にあつては別表第3に掲げる額を、男女共同参画推進センターにあつては別表第4に掲げる額を基準として、利用の形態等の状況を勘案して指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする。

3 附属設備の利用に係る利用料金については、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする。

4 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

（利用料金の減免）

第9条 指定管理者は、あらかじめ市長の承認を受けて定める基準に基づき、利用料金を減免することができる。

（特別の設備等）

第10条 利用者は、指定管理者の許可を受けて特別の設備をすることができる。

第11条 指定管理者は、長崎市民会館の管理上必要があると認めるときは、利用者に対し、必要な設備をすることを命ずることができる。

（権利の譲渡等の禁止）

第12条 利用者は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

（利用目的以外の利用の禁止）

第13条 利用者は、許可された利用目的以外に施設を利用してはならない。

(利用許可の取消し等)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止し、若しくは制限することができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により利用の許可を受けたとき。
- (2) 利用の許可の条件に違反したとき。
- (3) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

2 前項の規定による処分によつて利用者に損害が生じることがあつても、市及び指定管理者は、その責めを負わない。

(原状回復)

第15条 利用者は、施設の利用を終わつたとき、又はその利用を取り消されたときは、直ちに係員の指示に従い、その利用の場所を原状に復さなければならない。

2 利用者が前項に規定する義務を履行しないときは、市長が代わつて行い、その費用を利用者から徴収する。

(入館の制限)

第16条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められる者
- (3) 長崎市民会館の管理上支障があると認められる者
- (4) その他教育委員会が適当でないと認める者

(損害賠償)

第17条 長崎市民会館の建物又は附属設備を汚損し、毀損し、又は滅失させた者は、市長の定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(目的外の使用料)

第18条 施設をその目的外に使用する場合の使用料は、別表第5のとおりとする。

2 前項の使用料は、その月分を翌月の10日までに納入しなければならない。

(目的外の使用料の減免)

第19条 市長は、特別の理由があると認めるときは、目的外の使用料を減免することができる。

(目的外の使用料の返還)

第20条 既納の目的外の使用料は、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(費用の負担)

第21条 施設をその目的外に使用する場合に電気、水道又はガスを使用するときは、これに要する経費は、使用する者の負担とする。

(準用)

第22条 第10条から第15条までの規定は、施設をその目的外に使用する場合について準用する。この場合において、第10条、第11条及び第14条第1項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、同条第2項中「市及び指定管理者」とあるのは「市」と読み替えるものとする。

(教育委員会による管理)

第23条 教育委員会は、指定管理者の指定をすることができないとき、又は指定管理者の指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の停止を命じたときは、第4条第1項の規定にかかわらず、管理の業務を自ら行うものとする。

2 前項の場合においては、第6条第1項、第7条、第8条第1項及び第3項、第9条から第11条まで、第14条並びに別表第1から別表第4までの規定の適用については、第6条第1項中「教育委員会(男女共同参画推進センターにあつては、市長。次項において同じ。)の承認を得て指定管理者が」とあるのは「教育委員会(男女共同参画推進センターにあつては、市長)が別に」と、第7条第1項及び第2項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、同条第3項中「指定管理者」とあるのは「市長」と、同条第4項及び第5項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会(男女共同参画推進センターにあつては、市長)」と、第8条第1項中「施設の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない」とあるのは「別表第1から別表第4までに掲げる使用料を納入しなければならない」と、同条第3項中「利用料金については、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて」とあるのは「使用料については、市長が別に」と、第9条中「指定管理者は、あらかじめ市長の承認を受けて定める基準に基づき、利用料金」とあるのは「市長は、特別の理由があると認めるときは使用料」と、第10条及び第11条中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、第14条第1項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会(男女共同参画推進センターにあつては、市長)」と、同条第2項中「市及び指定管理者」とあるのは「市」と、別表第1中「基準額」及び「金額」とあるのは「使用料」

と、同表備考4中「4割に相当する額とする」とあるのは「4割に相当する額とし、ホールの利用者が第1号の表に掲げる利用時間帯を連続して利用する場合においては、正午から午後1時まで又は午後5時から午後6時までの利用に係る使用料は徴収しない」と、同表備考5中「指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする」とあるのは「市長が定める」と、別表第2中「基準額」及び「金額」とあるのは「使用料」と、同表備考5中「指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする」とあるのは「市長が定める」と、別表第3中「基準額」及び「金額」とあるのは「使用料」と、同表備考1中「実費に相当する額とする」とあるのは「実費を徴収する」と、同表備考3中「指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする」とあるのは「市長が定める」と、別表第4中「基準額」及び「金額」とあるのは「使用料」と、同表備考2中「指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする」とあるのは「市長が定める」とし、第6条第2項並びに第8条第2項及び第4項の規定は適用しない。

- 3 教育委員会は、第1項の規定により管理の業務を行うこととし、又は同項の規定により行っている管理の業務を行わないこととするときは、あらかじめその旨を告示するものとする。

(平29条例18・一部改正)

(委任)

第24条 この条例の施行について必要な事項は、別に定める。

附 則 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 指定管理者の指定に関し必要な手続は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(経過措置)

- 3 施行日前に、次項の規定による改正前の長崎市体育館条例（昭和48年長崎市条例第21号）、附則第5項の規定による廃止前の長崎市文化ホール条例（昭和48年長崎市条例第62号）及び長崎市男女共同参画推進センター条例（平成4年長崎市条例第1号）の規定並びに長崎市公民館条例の一部を改正する条例（平成27年長崎市条例第6号）第2条の規定による改正前の長崎市公民館条例（昭和26年長崎市条例第19号）によりなされた利用の許可その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(関係条例の廃止)

5 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 長崎市文化ホール条例

(2) 長崎市男女共同参画推進センター条例

附 則 (平成29年 3 月23日条例第18号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成31年 3 月29日条例第 4 号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月 1 日から施行する。

(利用料金に関する経過措置)

2 第 1 条、第 3 条、第 5 条及び第 6 条の規定による改正後の次に掲げる条例の規定は、この条例の施行の日 (以下「施行日」という。) 以後に利用の許可を受ける者の利用料金について適用し、施行日前に利用の許可を受けた者の利用料金については、なお従前の例による。

(1)及び(2) 略

(3) 長崎市民会館条例別表第 1 から別表第 4 まで

(使用料に関する経過措置)

3 第 1 条から第 5 条までの規定による改正後の次に掲げる条例の規定は、施行日以後に利用の許可を受ける者の使用料について適用し、施行日前に利用の許可を受けた者の使用料については、なお従前の例による。

(1)から(4)まで 略

(5) 長崎市民会館条例別表第 5

附 則 (令和 2 年 6 月19日条例第39号)

(施行期日)

1 この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の長崎市民会館条例の規定は、この条例の施行の日以後の利用に係る利用料金について適用し、同日前の利用に係る利用料金については、なお従前の例による。

附 則 (令和 6 年 7 月17日条例第29号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。ただし、附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の長崎市民会館条例（以下「新条例」という。）別表第3の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の利用に係る利用料金について適用し、施行日前の利用に係る利用料金については、なお従前の例による。

(準備行為)

- 3 新条例別表第1第2号に規定する第1会議室から第8会議室まで及び別表第3に規定する第1研修室を利用させるために必要な手続その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第1（第8条関係）

（平31条例4・令2条例39・令6条例29・一部改正）

文化ホールの利用に係る基準額

(1) ホールを利用する場合

種別 \ 利用時間	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
平日	円 11,649	円 25,635	円 30,297
土曜日、日曜日又は休日	13,975	30,297	36,121

(2) ホール以外を利用する場合

種別 \ 利用時間	午前9時から正午まで		午後1時から午後5時まで		午後6時から午後9時まで		午前9時から午後5時まで	午後1時から午後9時まで	午前9時から午後9時まで
展示ホール	円 3,624		円 4,840		円 4,840		円 8,464	円 9,680	円 13,304
リハーサル室	3時間未満の場合	1時間につき178	4時間未満の場合	1時間につき180	3時間未満の場合	1時間につき240	1,256	1,444	1,978
	3時間の場	534	4時間の場	722	3時間の場	722			

	合		合		合				
音楽室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 712	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 715	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 953	4,997	5,720	7,857
	3時間 の場 合	2,137	4時間 の場 合	2,860	3時間 の場 合	2,860			
大会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 527	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 526	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 701	3,686	4,210	5,791
	3時間 の場 合	1,581	4時間 の場 合	2,105	3時間 の場 合	2,105			
第1会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 265	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 264	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 352	1,854	2,116	2,912
	3時間 の場 合	796	4時間 の場 合	1,058	3時間 の場 合	1,058			
第2会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 331	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 332	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 443	2,325	2,660	3,655
	3時間 の場 合	995	4時間 の場 合	1,330	3時間 の場 合	1,330			
第3会議室	3時間 未満	1時間 につ	4時間 未満	1時間 につ	3時間 未満	1時間 につ	1,832	2,094	2,879

	の場 合	き 261	の場 合	き 261	の場 合	き 349			
	3時間 の場 合	785	4時間 の場 合	1,047	3時間 の場 合	1,047			
第4会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 331	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 332	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 443	2,325	2,660	3,655
	3時間 の場 合	995	4時間 の場 合	1,330	3時間 の場 合	1,330			
第5会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 265	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 264	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 352	1,854	2,116	2,912
	3時間 の場 合	796	4時間 の場 合	1,058	3時間 の場 合	1,058			
第6会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 286	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 269	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 359	1,938	2,158	3,017
	3時間 の場 合	859	4時間 の場 合	1,079	3時間 の場 合	1,079			
第7会議室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 293	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 293	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 391	2,053	2,346	3,226
	3時間 の場 合	880	4時間 の場 合	1,173	3時間 の場 合	1,173			

	の場合		の場合		の場合				
第8会議室	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 586	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 589	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 785	4,117	4,714	6,474
	3時間 の場合 合	1,760	4時間 の場合 合	2,357	3時間 の場合 合	2,357			
小会議室	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 143	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 136	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 181	973	1,088	1,517
	3時間 の場合 合	429	4時間 の場合 合	544	3時間 の場合 合	544			
和室（1室につ き）	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 314	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 314	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 419	2,199	2,514	3,456
	3時間 の場合 合	942	4時間 の場合 合	1,257	3時間 の場合 合	1,257			

備考

- 1 「ホール」とは、観客席、舞台、楽屋及びホワイエをいう。
- 2 「休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。
- 3 営利、営業宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の金額は、この表に掲げる金額の倍額とする。
- 4 第1号の表に掲げる利用時間帯のいずれかの全部をその利用に係る準備又はリハーサルのために利用する場合の金額は、同表に掲げる金額（備考3の適用があるとき

は、当該適用後の金額)の4割に相当する額とする。この場合において、当該4割に相当する額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

5 利用時間を超過して利用する場合の金額は、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする。

6 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間は、1時間として計算する。

別表第2(第8条関係)

(平31条例4・令2条例39・一部改正)

市民体育館の利用に係る基準額

(1) 専用利用する場合

種別				利用時間	午前9時から 正午まで		午後1時から 午後5時まで		午後6時から 午後9時まで		
競技場	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料等を徴収しない場合	平日		円		円		円		
			土曜日、日曜日又は休日		3,080		4,756		6,421		
		入場料等を徴収する場合	平日		24,985		34,854		44,859		
			土曜日、日曜日又は休日		31,166		39,505		47,719		
			アマチュアスポーツ以外に利用する場合	入場料等を徴収しない場合	平日		24,985		34,854		44,859
					土曜日、日曜日又は休日		31,166		39,505		47,719
	入場料等を徴収する場合	平日			31,166		42,837		54,381		
		土曜日、日曜日又は休日			39,023		50,809		64,020		
	軽スポーツ室（1室につき）					円		円		円	
				平日	3時間未満の場合	1時間につき590	4時間未満の場合	1時間につき594	3時間未満の場合	1時間につき988	

		3時間 の場合	1,770	4時間 の場合	2,378	3時間 の場合	2,964
	土曜日、日曜日又は休日	3時間 未満の の場合	1時間 につき 708	4時間 未満の の場合	1時間 につき 712	3時間 未満の の場合	1時間 につき 1,187
		3時間 の場合	2,126	4時間 の場合	2,849	3時間 の場合	3,561

備考

- 1 「入場料等を徴収」とは、利用者が入場料、会費等を徴収し、又は賛助金、寄附金その他名目のいかなるものかを問わず、市民体育館に入館する者から金銭を受領することをいう。
- 2 「休日」とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう。
- 3 アマチュアスポーツ以外に利用する場合で入場料等を徴収する場合は、この表に掲げる金額に、入場料等の1人当たり最高額の100人分を加算した額とする。
- 4 軽スポーツ室を利用する場合で営利、営業宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の金額は、この表に掲げる金額の倍額とする。
- 5 利用時間を超過して利用する場合及び競技場又は軽スポーツ室を部分的に利用する場合の金額は、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする。
- 6 競技場を利用する場合において、この表に掲げる利用時間帯のいずれかの全部をその利用に係る準備又はリハーサルのために利用するときの金額は、この表に掲げる金額（備考3の適用があるときは、当該適用後の金額）の4割に相当する額とする。
- 7 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間は、1時間として計算する。

(2) 練習利用する場合

種別		利用時間				
		午前10時から正午まで	午後1時から午後3時まで	午後3時から午後5時まで	午後5時から午後7時まで	午後7時から午後9時まで
バドミントン (1面につき)	小学校の児童又は中学校の生徒	円 125	円 125	円 125		
	高等学校の生徒	251	251	251		
	一般	513	513	513	576円	576円

バレーボール (1面につき)	小学校の児童又は中学校の生徒	314	314	314		
	高等学校の生徒	639	639	639		
	一般	1,288	1,288	1,288	1,540円	1,540円
バスケットボール (1面につき)	小学校の児童又は中学校の生徒	314	314	314		
	高等学校の生徒	639	639	639		
	一般	1,288	1,288	1,288	1,540円	1,540円
その他 (競技場半面につき)	小学校の児童又は中学校の生徒	314	314	314		
	高等学校の生徒	639	639	639		
	一般	1,288	1,288	1,288	1,540円	1,540円

(3) トレーニング室を利用する場合

種別		利用時間	午前10時から午後5時まで	午後5時から午後9時まで
当日券 (1人2時間につき)	高等学校の生徒		188円	
	一般			356円
会員券 (1人1月につき)	高等学校の生徒		1,215円	
	一般			2,440円

(4) 卓球室を利用する場合

種別		利用時間	午前10時から正午まで	午後1時から午後3時まで	午後3時から午後5時まで	午後5時から午後7時まで	午後7時から午後9時まで
卓球台 (1台につき)	小学校の児童又は中学校の生徒		円 62	円 62	円 62		
	高等学校の生徒		157	157	157		
	一般		314	314	314	377円	377円

別表第3 (第8条関係)

(令2条例39・全改、令6条例29・一部改正)

中央公民館の利用に係る基準額

利用時間 種別	午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後9時まで	午前9時から 午後9時まで
第1研修室	円 3時間 未満 の場合 合	円 1時間 4時間 未満 の場合 合	円 1時間 3時間 未満 の場合 合	円 1,854	円 2,116	円 2,912
第2研修室	円 3時間 未満 の場合 合	円 1時間 4時間 未満 の場合 合	円 1時間 3時間 未満 の場合 合	円 1,854	円 2,116	円 2,912
第3研修室	円 3時間 未満 の場合 合	円 1時間 4時間 未満 の場合 合	円 1時間 3時間 未満 の場合 合	円 1,854	円 2,116	円 2,912
第4研修室	円 3時間 未満 の場合 合	円 1時間 4時間 未満 の場合 合	円 1時間 3時間 未満 の場合 合	円 2,325	円 2,660	円 3,655

第5研修室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 265	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 264	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 352	1,854	2,116	2,912
	3時間 の場 合	796	4時間 の場 合	1,058	3時間 の場 合	1,058			
第6研修室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 265	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 264	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 352	1,854	2,116	2,912
	3時間 の場 合	796	4時間 の場 合	1,058	3時間 の場 合	1,058			
視聴覚室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 883	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 882	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 1,176	6,180	7,060	9,710
	3時間 の場 合	2,650	4時間 の場 合	3,530	3時間 の場 合	3,530			
調理実習室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 586	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 586	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 782	4,106	4,692	6,452
	3時間 の場 合	1,760	4時間 の場 合	2,346	3時間 の場 合	2,346			
室内楽室	3時間 未満 の場	1時間 につ き	4時間 未満 の場	1時間 につ き	3時間 未満 の場	1時間 につ き	2,053	2,346	3,226

	合	293	合	293	合	391			
	3時間 の場 合	880	4時間 の場 合	1,173	3時間 の場 合	1,173			
和室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 412	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 413	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 551	2,891	3,310	4,546
	3時間 の場 合	1,236	4時間 の場 合	1,655	3時間 の場 合	1,655			
体育室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 450	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 450	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 600	3,152	3,602	4,953
	3時間 の場 合	1,351	4時間 の場 合	1,801	3時間 の場 合	1,801			
工作室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 352	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 353	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 471	2,472	2,828	3,886
	3時間 の場 合	1,058	4時間 の場 合	1,414	3時間 の場 合	1,414			

備考

- 1 ガスを利用する場合は、その実費に相当する額とする。
- 2 利用者が入場者から入場料金その他これに類する料金を徴収する場合は、この表に掲げる金額の倍額とする。
- 3 利用時間を超過して利用する場合の金額は、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする。

- 4 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間は、1時間として計算する。

別表第4（第8条関係）

（令2条例39・全改）

男女共同参画推進センターの利用に係る基準額

利用時間 種別		午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後9時まで	午前9時から 午後9時まで
会議室	1	円	円	円	円	円	円
		3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 286	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 285	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 380
		3時間 の場合 合	859	4時間 の場合 合	1,141	3時間 の場合 合	1,141
	2	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 118	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 120	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 160
		3時間 の場合 合	356	4時間 の場合 合	481	3時間 の場合 合	481
	3	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 237	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 235	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 314
		3時間 の場合 合	712	4時間 の場合 合	942	3時間 の場合 合	942
	4	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 1,120	4時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 1,278	3時間 未満 の場合 合	1時間 につ き 1,759
		3時間 の場合 合		4時間 の場合 合		3時間 の場合 合	

		の場 合	き 160	の場 合	き 159	の場 合	き 213			
		3時間 の場 合	481	4時間 の場 合	639	3時間 の場 合	639			
研修室	1	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 544	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 544	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 726	3,813	4,358	5,992
		3時間 の場 合	1,634	4時間 の場 合	2,179	3時間 の場 合	2,179			
	2	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 331	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 332	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 443	2,325	2,660	3,655
		3時間 の場 合	995	4時間 の場 合	1,330	3時間 の場 合	1,330			
	和室	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 199	4時間 未満 の場 合	1時間 につ き 199	3時間 未満 の場 合	1時間 につ き 265	1,393	1,592	2,189
		3時間 の場 合	597	4時間 の場 合	796	3時間 の場 合	796			

備考

- 1 営利、営業宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の金額は、この表に掲げる金額の倍額とする。
- 2 利用時間を超過して利用する場合の金額は、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める額とする。

- 3 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間は、1時間として計算する。

別表第5（第18条関係）

（平31条例4・一部改正）

使用区分	使用料（1月につき）
売店	9,711円

備考

- 1 使用期間が1月未満であるとき、又は使用期間に1月未満の端数があるときは、その使用期間又はその端数期間については、1月を30日として日割計算をする。
- 2 使用料の額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。